

といふ四分四厘方増加してゐる。物價も日銀卸賣物價指數によると昨年八月の一五五・八から、本年八月の一八〇・〇と約一割五分方昂騰した。洋鐵、苛性ソーダの如きは二倍以上、綿糸、綿布、硫酸小麥も夫々七割乃至五割方の昂騰だ。しかし米、大麥其他の農産物は果して右と同程度に昂騰してゐるだらうか、洋鐵、苛性曹達、綿絲、綿布、硫酸等の工業生産物が、通貨の膨脹度以上に急角度にとび上つたのに、反して米、大麥其他の農産物は僅かに二割乃至五分の昂騰に過ぎなかつた。しかも最近の米價は二割餘の昂騰どころか政府の基準最低價格廿圓八十六錢を遂に下廻り、一時は十九圓臺に落込み通常ならば十一月發動の改正米穀統制法期待で上向く筈の米價は落調を落めない。今臨時議會の八月以來の東京期米、深川正米（中）の相場を見れば下表の如くである。